■ 新型コロナウイルス感染症対策

感染に対する市の予防対策

新型コロナウイルス感染症対策について、3月24日現在の市の対応状況をお知らせします。

日々情勢が変化し、緊急の対応を迫られていますが、市では感染拡大の防止に向けて全力で取り組んでいます。

引き続き、手洗い・うがい・マスクの着用など、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

新型コロナウイルスの感染拡大防止へ

市民の皆さんや関係団体への新型コロナウイルスの感染拡大を未然に防ぐため、2月21日に「須賀川市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置しました。

「市主催等イベント中止等及び市の施設の休館に関する指針」を定め、各分野で予防対策などに取り組んでいます。

小・中学校の対応

3月4日から3月23日までを臨時休業としました。

また、文部科学省からの要請を受け、3月中は部活動・特設クラブの活動など、学校開放事業を中止しました。

なお、児童・生徒の健康管理と、不要不急の外出は避けるよう依頼しています。

放課後児童クラブ(学童保育)

既に利用している児童は、3月4日から長期休業時と同様の体制で朝から預かりを行っています。

施設の利用・貸館などの対応

2月28日から、不特定多数の人が利用し、濃厚接触の可能性が高い施設を休館とし、また一部施設の貸館を中止しました。

3月19日の政府の専門家会議の結果を受け、3月24日からは条件を付けて一部施設の利用と貸館を再開しました。

施設ごとの詳しい状況については、市ホームページをご覧になるか、ご利用になる施設にお問い合わせください。

事業者支援

新型コロナウイルス感染症により影響を受ける、またはそのおそれがある事業者への国の支援施策、県の資金繰りの支援をはじめ、各相談窓口などについて、市ホームページでお知らせしています。

お出掛け前にご確認を

今月号に掲載のイベント情報などは、3月24日現在の情報です。中止となることがありますので、お出掛け前にご確認ください。

最新の情報は、市ホームページやウルトラFMでも随時お知らせします。

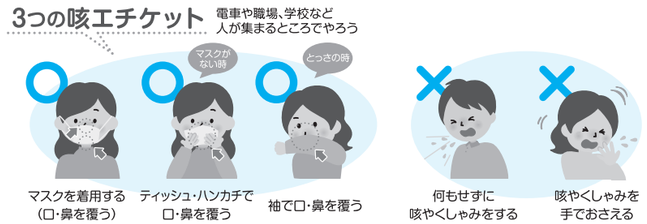
問 健康づくり課☎(88)8122

● 咳(せき)エチケット

■ ほかの人にうつさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心掛けましょう。

- マスクを着用します。
- ティッシュなどで鼻と口を覆います。
- とっさの時は袖や上着の内側で覆います。
- 周囲の人からなるべく離れます。



正しいマスクの着用

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan
厚生労働省
厚労省 検索

● 相談・受診の目安

- 37.5度以上の発熱
- せきなどの風邪症状

一般の人(子ども含む) → 4日以上続く
高齢者、妊婦 持病のある人 → 2日程度続く

- 強いだるさ
- 息苦しさ

→ すぐに

帰国者・接触者相談センター(県中保健所内)
☎0248-75-7827 ※午前9時～午後5時(平日のみ)

■ ふるさとづくり支援事業

地域活性化に補助金の活用を

市では、ふるさとづくり事業と花いっぱい推進事業を実施する団体に補助金を交付しています。今月号では、昨年度に実施した36団体のうち2つの団体の事業を紹介します。

おいしいから食べてって(雨でも安心なテント)

区民祭の運営がスムーズに ―森宿区―

森宿区で毎年秋に行われる区民祭には、例年1000人以上が参加し、地域住民の交流の場となっています。

しかし、準備には備品の借り入れなど多くの手間と時間が掛かり、大きな負担となっていました。

これまでレンタルにより準備していた販売ブースや飲食スペース用のテントを本事業を活用して整備しました。

これにより、地域住民の楽しみである区民祭の準備をよりスムーズに行えるようになり、将来的に運営しやすくなっています。

秋祭りを継承・発展 ―西川若連会―

西川地区では、古くから秋祭りが行われてきましたが、近年は地域コミュニティの希薄化などで参加者が減少し、秋祭りそのものの存続が危ぶまれる状況にありました。

そこで、この秋祭りを継承するため、老朽化した子ども用のみこしや、ちょうちんなどをそろえ、より多くの人に参加してもらえる環境を整えました。

地区の連帯感が高まりお祭りは大にぎわい！

準備のための数カ月間や、当日のみこし渡御などを通して、地域の連帯感が高まるとともに、子どもたちの郷土愛が深まりました。

また、新たに地区の児童クラブや子ども育成会からの参加もあり、着実に地域に秋祭りを浸透させることができています。

今後も地区の住民が一丸となって、秋祭りの継承と更なる発展を目指していきます。

問 企画政策課☎(88)9131

支援団体を募集

次の2つの事業の活用を希望する団体を随時募集しています。

ふるさとづくり事業

支援対象事業

- ▶地域資源を活用し地域を活性化
- ▶子育て支援や高齢者の自立支援
- ▶防犯活動、安全・安心な地域づくり
- ▶地域特有の自然環境や景観の保全
- ▶地域の環境美化など

補助限度額 100万円(補助率10分の9以内)

花いっぱい推進事業

- ▶地域の公共の場所に花卉(かき)の植栽事業

補助限度額 15万円(補助率10分の10以内)

詳しくは、企画政策課にお問い合わせください。

環境コラム

"ちょこっとエコな話"⑯

マイバッグを持ち歩こう

コンビニなどでの買い物のときに、無料で配布されている便利なレジ袋。今年7月1日から、有料化の義務付けが決定しました。

日本は、国民1人当たりのプラスチック容器や包装用のごみの量が世界第2位、レジ袋は年間300億枚以上使われているとも言われ、これらのプラスチックごみによる海洋汚染も世界的に大きな問題となっています。

既に大手のスーパーなどで有料化されていることもあり、マイバッグやマイかごを持参の買い物姿も多く見られるようになっています。

「レジ袋はいりません」と言う言葉をきっかけとして、"ちょこっと"エコなライフスタイルを心掛けてみませんか。

問 環境課☎(88)9130